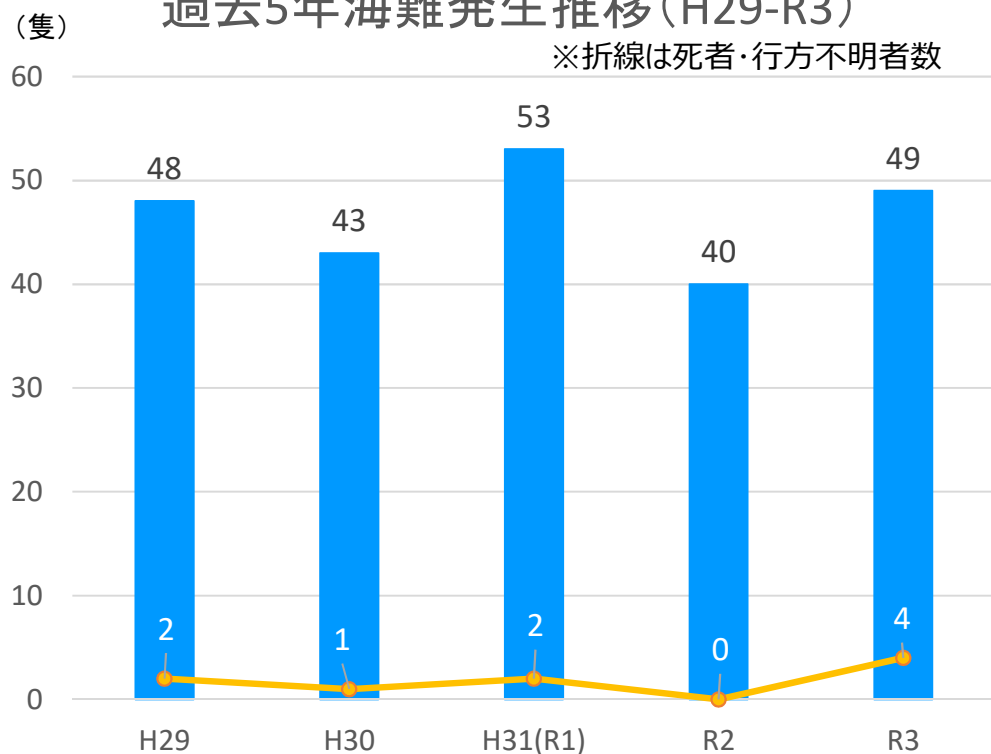


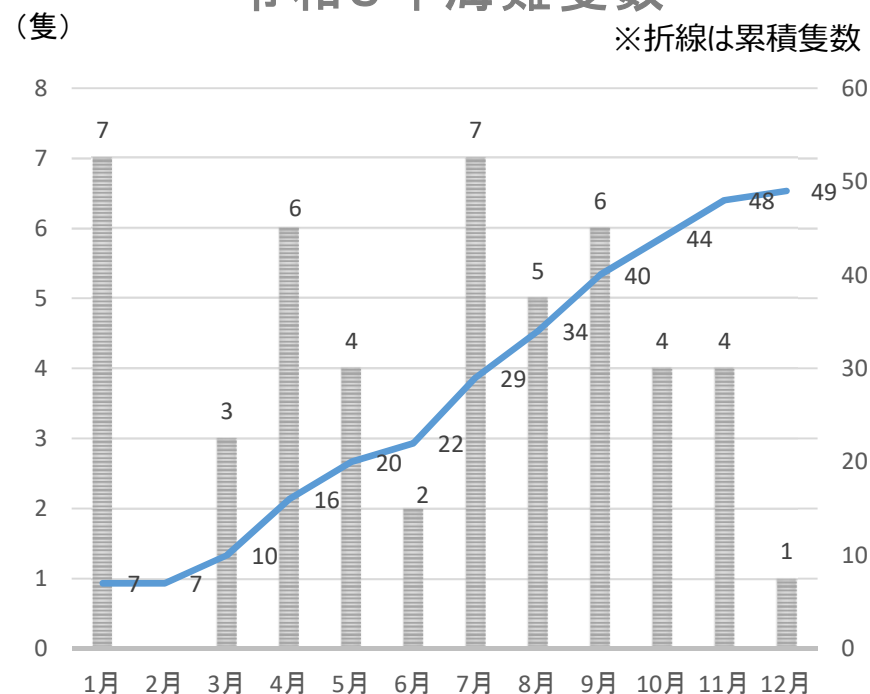
- 横須賀海上保安部管内の海難発生状況
- 令和3年のプレジャーボート海難事例
- 令和3年の主な海難防止啓発活動の状況

令和4年2月7日

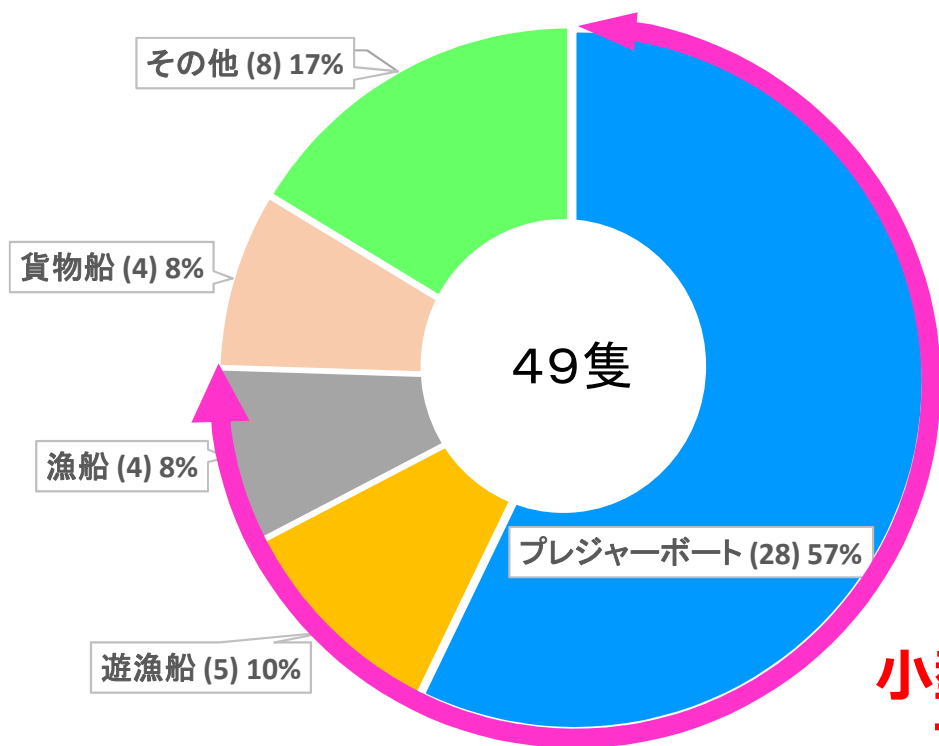
過去5年海難発生推移(H29-R3)



令和3年海難隻数



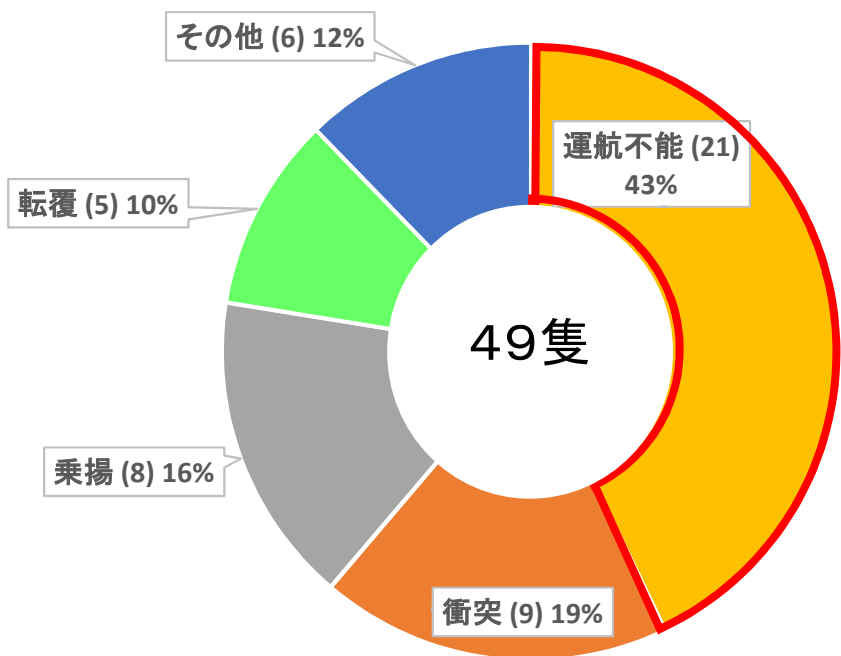
船種別船舶海難発生状況 令和3年【速報値】



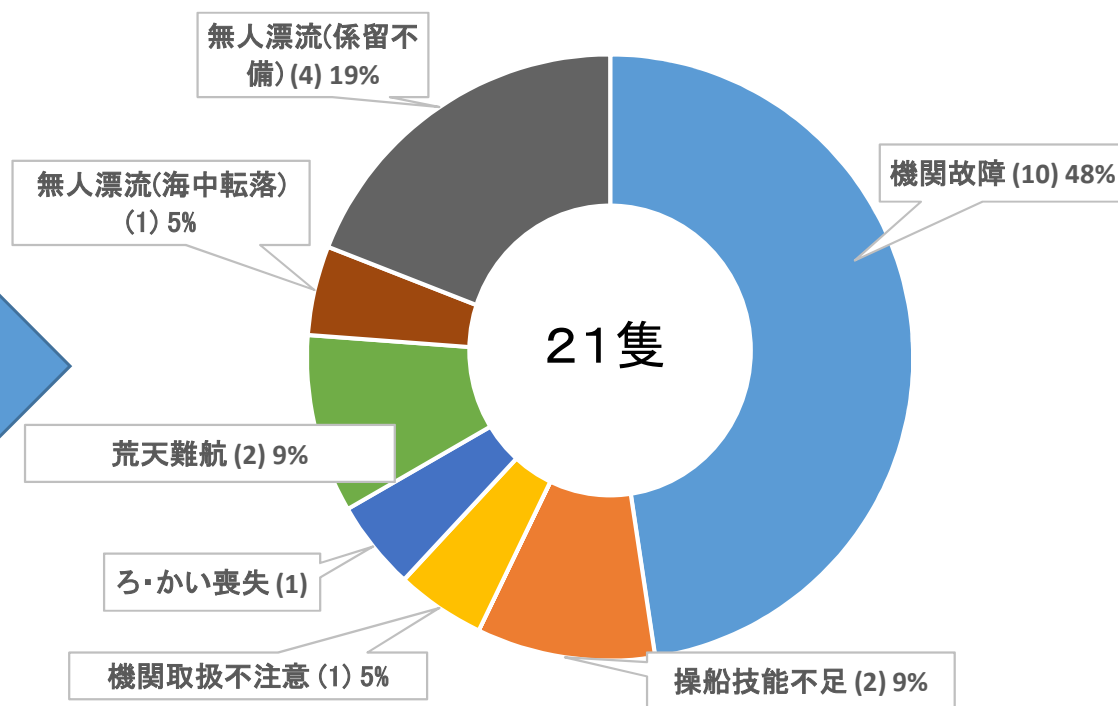
**小型船舶
75%**

船舶種別	隻数(隻)
プレジャーボート	28
遊漁船	5
漁船	4
貨物船	4
その他	8
合計	49

海難種類別発生状況 令和3年【速報値】



運航不能内訳 令和3年【速報値】



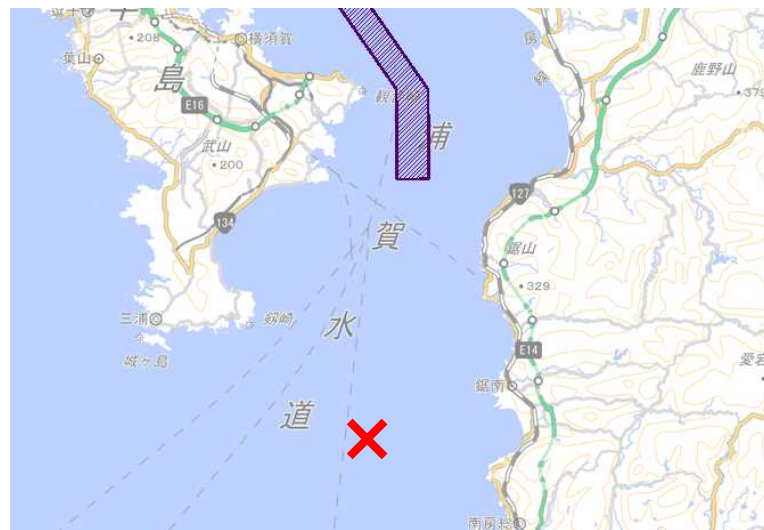
運航不能(機関故障)燃料油不適合

自動車運搬船A丸(約1万1千トン、165m)は乗用車等約450台を積載のうえ浦賀水道から西向け航行中に突如機関が停止したものの。機関停止後潮流により東京湾内へ漂流していたところ、機関停止から約4時間後に機関の始動に成功したものの。機関停止原因は燃料油の性状不適合によるものであり、異なる製油所の燃料を混載したことによるものと判明した。



運航不能(機関故障)機関始動不能

自動車運搬船B丸(約5万7千トン、199m)は、東京湾外から浦賀水道入航にあたり、前後進テストを行ったところ、機関再始動不能となり、緊急投錨したものの。原因調査したところ、圧縮空気配管に亀裂があり、始動できないことが判明したため、部品交換のうえ再始動に成功し、航行を再開したものの。



運航不能(乗り上げ)

プレジャーボートC号は令和3年5月、所有者である船長1名乗船のうえ遊走目的で江ノ島方面へ出港した。途中、眠気を催したことからアンカーのうえ仮眠していたところ、風浪により走錨し、付近砂浜へ乗り上げたもの。

乗り上げ後、マリーナ救助艇により救助された。



運航不能(乗り上げ)

プレジャーボートC号は令和3年6月、所有者である船長と旅客2名を乗船させ遊走目的で航行中、三崎港南東に設置してある定置網に乗り上げたもの。

乗り上げ後、定置網所有者によりえい航救助された。

本件は左記の海難と同一船舶である。

○ 合同一斉指導取締り（逗子海岸）

横須賀海上保安部及び逗子警察が連携し、水上オートバイをはじめとする動力船と遊泳者等が混在し、人身事故の発生が懸念されることから、法令遵守、励行及びマナー向上を図るため、水上オートバイに対する指導取締りを実施した。

実施日：7月11日（日）

実施者：横須賀保安部、逗子警察

実施状況：水上オートバイ42隻(内、免許不携帯等3隻に警告処分)



○ 安全指導、合同パトロール（海岸、マリーナ等）

海上保安部単独や、関係機関と合同によるパトロール、マリンレジャー関係者への訪問安全啓発を海の安全運動期間中実施。

訪問隻数：784隻

訪問指導数：162件

